

令和5年度 第2回山梨県地域クラブ活動推進連絡会（概要）

1. 日時 : 令和5年11月14日（火）14時00分から16時00分
2. 場所 : 防災新館 304会議室
3. 参加者 :

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	山梨学院大学 スポーツ科学部	学部長	遠藤 俊郎	
2	山梨大学 大学院総合研究部教育学域人間科学系	教授	関口 浩文	欠席
3	県小中学校校長会	中学部長	依田 宏記	
4	県高等学校校長協会	会長	小林 智	
5	県小中学校体育連盟	会長	菅谷 信	
6	県PTA協議会	会長	清水 好美	
7	県スポーツ推進委員協議会	会長	飯田 忠子	
8	県スポーツ協会 スポーツ振興	課長	八巻 智也	
9	県スポーツ指導者協議会	会長	渡邊 悟	
10	総合型地域スポーツクラブ協議会(S C山梨)	理事長	村松 久義	
11	地域スポーツクラブ代表者(V F甲府)	総合型担当	長田 圭介	
12	県吹奏楽連盟	理事長	仲田 太年	欠席
13	昭和町教育委員会 生涯学習課	生涯スポーツ係長	深川 慶太	
14	県スポーツ振興課	課長	岡田 孝秀	
15	県教育庁総務課 教育企画室	室長	岩出 修司	
16	県教育庁義務教育課	課長	小池 孝二	
17	県教育庁高校教育課	課長	萱沼 恵光	
18	県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課	課長	鷹野 美香	
19	県教育庁保健体育課	課長	山田 芳樹	
20	県教育庁保健体育課	総括コーディネーター	荻野 昭彦	

【事務局】

21	県スポーツ振興課 主幹	事務局	米山 正仁	
22	県スポーツ振興課・生涯スポーツ担当 主幹	事務局	飯野 泰司	
23	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 課長補佐	事務局	渡辺 忠正	欠席
24	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 主事	事務局	早川 雄貴	
25	県教育庁義務教育課・教育指導担当 指導主事	事務局	雨宮 光平	欠席
26	県教育庁保健体育課・総括課長補佐	事務局	西川 一枝	
27	県教育庁保健体育課・学校体育担当 課長補佐	事務局	花輪 孝徳	
28	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	渡辺 健太郎	
29	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	田鹿 欣孝	

4. 内容 : (1) 報告

- ① 第2回市町村担当者会の概要について
- ② 市町村の取組状況について

(2) 議事

- ① 「やまなし学校部活動及びやまなし地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」策定について
- ② アンケート調査の実施について
- ③ その他

(3) 連絡事項

- ① 県人材バンクシステムについて
- ② 「休日部活動の地域移行」に関わる研修会について
- ③ 第3回山梨県地域クラブ活動推進連絡会について

5. 主な発言

- ガイドライン策定にあたり、言葉の表現等で難しい部分もあるが、国の表現等も含めて、確認するべきところを確認して訂正等してもらえればよい。
- 「県からチラシを作成し発信していくこと」「アンケート調査について教員が先におこなうこと」についてとても良い。正しい理解の中で、この改革が進んでいくことが大事だと思う。
- 受益者負担について、保護者用チラシの「受益者負担 Q&A」の表現を少し工夫した方が良いのでは。受益者負担が当たり前の表現になっていると、地域クラブへの参加に後ろ向きになってしまう可能性があるので、なぜ受益者負担が必要になってくるか等を表記するとよいのでは。
- 子どもたちの大会参加について、平日の部活動の目的や目標を大切にあげたいので、勝利至上主義のチームが主役になるような状況にならないように進めていってほしい。
- 部活動の地域移行は、社会的な改革なので、教育委員会レベルへのチラシ配布ではなく、市町村の広報等にも掲載してもらい、地域の方々にもこの改革を理解していただくなかで、協力していただくことが必要ではないか。

【第2回推進連絡会を終えて】

- やまなし総合的なガイドライン(案)について、委員の方々からいただいた意見をまとめ、検討・修正をおこなう。できあがった最終案を委員の方々に再送付する。
- 最終案を市町村教育委員会へ送付し、12/6の市町村担当者会の場で最終確認をおこなう。
- アンケートおよびチラシについて、委員の方々からいただいた意見をまとめ、検討・修正をおこなう。11月中の発送へ向けて、早急に対応していく。